平成三十一度　明誠学院高校特進三類　国語課題問題　（二）

最初の一歩を踏み出せずに迷っている時、そっと背中を押してくれる大人や仲間に出会えることを祈っています。心に芽生えた小さな疑問や違和感を大切にしてください。そして、みなさんが「問い返す人」になってくれたなら、これ以上の喜びはありません。

これまで私の拙（つたな）い取材に応じてくださったすべての方々に、この場を借りて感謝申し上げます。本書には過去に共同通信から出稿した記事に加筆し、再掲したものもあります。新聞の連載企画を見て、このような表現の場にいざなってくださったメディアプレスの岡村啓嗣さん、貴重な機会を本当にありがとうございました。

名古谷隆彦

筆者は傍線部のように読者に「問い返す人」になってほしいと書いている。「問い返す人」とはどういう意味で、現代社会でどういう意義を持っているのか。本書の内容を踏まえ、「質問する」との違いに触れながら、二百字以内で述べなさい。ただし、段落はつけなくてよい。